

- 5日にハイテク株を中心とするナスダック総合指数がおよそ10ヵ月半ぶりの下落率を記録。資産売却を利上げ後の早い時期に開始することが望ましいとの一部のFOMC参加者の見方が下げを加速か。
- 米国株式市場全体に売りが広がったとはいえ、ハイテク株急落はプログラム売りの可能性も。ただし、金利やVIX指数の水準がさらに上昇するようであれば波乱の展開となる可能性も考えられる。

## ナスダック総合指数は前日比-3.3%の下落率を記録

5日の米国市場では、金利上昇を受けてナスダック総合指数が大幅に下落しました。

10年国債利回りが昨年末の1.51%台から1.70%台と、3営業日で0.2ポイントもの急上昇となり、ハイテク株を中心とするナスダック総合指数は前日比-3.3%と、昨年2月25日以来、およそ10ヵ月半ぶりの下落率を記録しました。金利上昇で、これまで過去と比較して割高な水準まで買われていたハイテク株などを売却する動きが強まったとみられます。

金利上昇については、今年は想定以上に速いペースで利上げが行われるのではないかと見方が背景にあると考えられます。

5日に公表された、昨年12月14-15日開催分の米連邦公開市場委員会（FOMC）の議事要旨で、物価上昇が加速すれば想定よりも早期かつ迅速に利上げを行う可能性が指摘されたばかりでなく、国債など買い入れた資産の売却を利上げ後の早い時期に開始することが望ましいとの一部の参加者の見方が明らかになったことが引き金になったと思われます。

## 米国株式市場全体に売りが広がったとはいえ

5日の米ハイテク株急落については、FOMC議事要旨公表前の下落がさほど大きくなかったことから、10年国債利回りが1.7%を超えたことで自動的にプログラム売りが行われ、下落が拡大した可能性も考えられます。

というのも、①ダウ・ジョーンズ工業株価平均（NYダウ）採用30銘柄のうち、13銘柄は上昇した、②S&P500種指数のオプションから算出された変動性（ボラティリティ）で、市場参加者の不安心理を映すとされるVIX指数は、5日に19.73と、前日の16.91から上昇したものの心理的な節とされる20を下回ったほか、昨年12月3日の30.67を大きく下回る水準にあることから米国株式市場全体に売りが広がったとはいえないからです。

ただし、昨年同様、今年の米国市場は物価や政策金利動向の影響を大きく受けると予想されるなか、金利やVIX指数の水準がさらに上昇するようであれば年初から波乱の展開となる可能性も考えられることから、7日発表の米雇用統計をはじめ、主要経済指標の内容が注目されます。

※上記は過去の情報および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

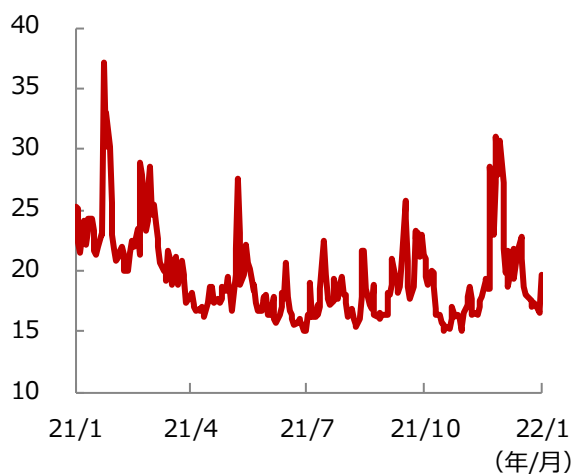
※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。

## 米国株・米金利の推移



※期間：2021年1月5日～2022年1月5日（日次）

## VIX指数の推移



※期間：2021年1月5日～2022年1月5日（日次）

出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

## 投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

### 【投資信託に係るリスクと費用】

#### ● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

#### ● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

##### ■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.85%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

##### ■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.09%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

### 【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

#### 【指数の著作権等】

● ナスダック総合指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はNasdaq Stock Market, Inc.に帰属します。

● VIX指数はシカゴ・オプション取引所が算出する指数です。